

水稻新品種「なつほのか」



「なつほのか」とは？

「なつほのか」は、鹿児島県において、「にこまる」を親として育成された新しい品種です。現在、鹿児島県と長崎県で奨励品種に採用されており、下記のような特徴を持っています。

一般的な品種「ヒノヒカリ」と比較して…

- ◆出穂期は4日、成熟期は7日程度早い
- ◆大粒で千粒重は重く、収量性は高い
- ◆玄米の品質は優れ、食味は概ね同程度
- ◆高温耐性に優れ、耐倒伏性も強い

	なつほのか	ヒノヒカリ
出穂期	8月23日	8月27日
成熟期	10月8日	10月15日
玄米重(kg/10a)	641	594
千粒重(g)	23.2	21.4

(農林水産研究指導センター水田農業グループ)

「ヒノヒカリ」と同程度の良食味の品種で、令和2年産の穀物検定協会の食味ランキングにおいて、長崎県産「なつほのか」は初めての出品で最高ランクの『特A』を獲得しています。

「ヒノヒカリ」と比べて高温に強い



ヒノヒカリ



なつほのか

(農林水産研究指導センター水田農業グループ)

大分県内で広く栽培されている「ヒノヒカリ」は高温に弱く、白未熟粒の発生による品質低下が問題とされています。

「なつほのか」は高温に強いことから品質が優れる傾向にあります。

R4年産より一般栽培がスタート

R4年より大分県内での一般栽培が開始されるにあたり、大分市と由布市において「なつほのか」の栽培を希望される方（乾燥を個人で行え、紙袋出荷ができる方）を対象に現地研修会を実施します。新型コロナウイルスの発生状況により中止とすることがありますので、現地研修会へ参加を希望される方は、以下の連絡先に9月10日までに連絡をお願いします。

研修会の日時

日時：9月14日 10：00～

集合場所：由布市役所 庄内支所駐車場

よろしくお願いします



J A おおいた中部事業部 農畜産課 (☎097-582-2755)

大分県中部振興局生産流通部集落営農・水田畑地化班 (☎097-506-5791)